

1. 目的

FFSA では、FFSA が定めた基準に基づき、施設を利用した第一次産業、スマートフードチェーンに関係する日本の製品や日本の技術で生産した産品を FFSA の推奨品として選定し、

- 1) 施設を利用した第一次産業の設備・検査機器等の高度化
- 2) 産品の多面的な価値の向上
- 3) FFSA 推奨基準の普及

を行い、日本や海外（特にアジア）での推奨品の販売促進、付加価値が高い「食」の提供により、世界の食生活向上を目指します。

2. 推奨品の特典

FFSA の推奨品は、FFSA の様々な活動を通じて広く世の中に宣伝されます。また、推奨品として選定されると、当該産品本体やパッケージ、カタログなどの販促物等に下記の推奨マークを表示し、また FFSA の推奨品であることを表記することができます。



FFSA 推奨マーク：

推奨マークは「安全・安心、高品質の証」として、推奨品の認知度・信頼度を高め、正当な価格を維持した販売の基盤となるような顧客価値を創造します¹。

3. 2023 年度 推奨品募集について

3-1)募集期間 2023 年 4 月 1 日～7 月 31 日

3-2)応募資格² 推奨分野の産品を製造・販売する日本の法人（日本法によって日本国内に設立された法人）

¹ FFSA 推奨産品の性能や品質については、製造元が定めた基準に基づく製造元での保証となります。

² 応募時には FFSA 会員である必要はありません。ただし、産品が FFSA 推奨産品として選定された場合には、FFSA への加入（会員登録）をお願いします。

3-3)募集対象となる推奨分野

以下の3分野を2023年度に新規設定いたしました。

2023-01：保管・輸送環境制御機器(スマートフードチェーン向け)

2023-02：保管・輸送環境改善資材(スマートフードチェーン向け)

2023-03：給餌システム(魚類)

2021年度、2022年度に設定した以下の11分野も、継続して募集いたします。

2021-01：人工光育苗設備（施設園芸・植物工場向け）

2021-02：環境制御装置（施設園芸・植物工場向け）

2021-03：衛生検査機器（人工光型植物工場向け）

2021-04：種苗（植物品種）

2021-05：養殖システム（海面魚類）

2022-01：検査分析機器（施設園芸・植物工場・養殖システム向け水質分析）³

2022-02：養液栽培システム（施設園芸向け）

2022-03：栽培環境調節用機器（施設園芸向け）

2022-04：栽培環境改善資材（施設園芸向け）

2022-05：輸送環境測定機器（スマートフードチェーン向け）

2022-06：陸上養殖システム（魚類）

なお、2023年度以降も上記以外の推奨分野の設定・拡大を検討いたします。

3-4)応募方法

- ・FFSA ホームページの「お問い合わせ」を通じてご相談ください。FFSA 事務局より、応募手続きに関するご説明とともに応募に必要な書類をお送りいたします。

3-5)応募書類送付先⁴

FFSA 事務局からお送りする「応募フォーム」に必要事項を記入いただき、必要書類を添付の上、郵送または電子送付にてお申し込みください。

(郵送)

〒103-0004

東京都中央区東日本橋2丁目28番4号

日本橋CETビル2階

一般社団法人 食の未来システム創造協議会（FFSA）事務局 宛

³ オンライン(連続測定)型、オフライン(バッチ測定)型を明記の上応募ください。

⁴ 応募書類は返却しません。

(電子送付)

FFSA ホームページの「お問い合わせ」を通じて送付または下記アドレスに直接送信ください。

futurefood@ffsa.jp

3-6)応募費用

単位当たりの販売価格	100 万円以上	5 万円
	1 万円以上 100 万円未満	3 万円
	1 万円未満*	2 万円

単位当たりの販売価格とは、応募商品の最小販売単位における価格を指します。

*種苗（植物品種）など一部の推奨品の応募料金、ならびに推奨マーク使用商品が複数ある場合の応募料金割引については別添 1 を参照ください。

3-7)応募料金 振込先

銀行名 住信 SBI ネット銀行

支店名 法人第一支店

口座番号 普通預金 1450407

名義人 一般社団法人 食の未来システム創造協議会

3-8)選定方法

提出書類に基づき、5名の選定委員による厳正な審査により選定します。

委員長	古在 豊樹	(千葉大学名誉教授)
委員	北澤 大輔	(東京大学教授)
委員	鈴木 克己	(静岡大学教授)
委員	糠谷 明	(静岡大学名誉教授)
委員	丸尾 達	(公益財団法人園芸植物育種研究所 理事長)

※選定の過程において、質問や追加資料の提出をお願いする場合があります。

※選定結果は、2023年10月31日までに、メールまたは書面にて連絡します。なお、選定結果に対する異議は受け付けませんが、選定委員から改善に向けた助言を行う場合があります。

以上

別添 1

1) 一部推奨品の応募料金割引について

種苗については、4,000 円/商品(品種) とする。

2) 1 申請者あたり複数の商品を応募する場合の応募料金割引について

単位当たりの販売価格が1万円未満の推奨品については、1 申請者あたり複数の商品を応募する場合、下記表に従った応募料金とする。

商品数	種苗以外	種苗
5 商品まで(基本応募料金)	20,000 円	4,000 円
6~10 商品まで	15,000 円	3,000 円
11~20 商品まで	10,000 円	2,000 円
21~50 商品まで	8,000 円	1,600 円
51 商品以上	6,000 円	1,200 円

例) 種苗以外 8 商品の場合、 $20,000 \text{ 円} \times 5 + 15,000 \text{ 円} \times 3$: 合計 145,000 円
なお、種苗、種苗以外が混在する場合は、基本応募料金が低い方を割引対象とする。

例) 種苗 4 商品、種苗以外 3 商品の場合、
 $20,000 \text{ 円} \times 3 + 4,000 \text{ 円} \times 2 + 3,000 \text{ 円} \times 2$: 合計 74,000 円

3) 応募商品の単位当たりの販売価格の例について

- ① 装置 A : 最小販売単位が 1 台で、50,000 円(税別)/1 台で販売されている場合、
応募商品の単位当たりの販売価格は 50,000 円
- ② 部材 B : 最小販売単位が 1 ユニット(5 個入り)で、9,800 円(税別)/ユニットで
販売されている場合、応募商品の単位当たりの販売価格は 9,800 円

別添 2

1) FFSA 推奨事業の Scope

FFSA は、国内外における安心・安全なスマートフードチェーン構築、および施設を利用した第一次産業の発展に貢献し、その価値を高めることにより世界、とりわけアジアの食生活向上を目指します。

FFSA 推奨事業の取組み対象の一つである、施設を利用した第一次産業における農業領域では、太陽光型植物工場、人工光型植物工場、およびこれらの周辺分野で用いられるシステム・機器を、また水産領域では、海面養殖や陸上養殖及びその周辺分野で用いられるシステム、機器を主たる対象分野とします(なお、FFSA の対象となる太陽光型植物工場には、水耕栽培、隔離培地を用いた養液栽培を含みますが、土耕栽培は含みません。)

一方、スマートフードチェーン構築においては、農林水産物に代表される食品・食材の安心・安全を担保するシステム・機器、資材を主たる対象分野とします。

これらの FFSA 対象分野に貢献することを前提に、2023 年度は具体的に下記の推奨分野を設定しています。

2) 募集対象となる推奨分野の概要について

2023-01：保管・輸送環境制御機器(スマートフードチェーン向け)

国内外での保管・輸送(陸上・海上・航空)を前提に、保管・輸送期間中における対象生鮮食品の品質劣化を最小限に抑えるよう、保管・輸送環境(温度・湿度・衝撃/振動・雰囲気成分等)を適切に設定・制御するための機器。なお雰囲気成分とは、CO2 濃度、エチレン濃度、酸素濃度等。

2023-02：保管・輸送環境改善資材(スマートフードチェーン向け)

国内外での保管・輸送(陸上・海上・航空)を前提に、輸送期間中における保管・輸送対象(生鮮食品)の品質劣化を最小限に抑えるよう、保管・輸送環境(温度・湿度・衝撃/振動・雰囲気成分等)を適切に改善・維持するための資材。なお雰囲気成分とは、CO2 濃度、エチレン濃度、酸素濃度等。

2023-03：給餌システム(魚類)

陸上または海上での魚類養殖において、対象魚に自動給餌することで、労働力の削減、効率的な肥育、給餌量・給餌タイミングの最適化等を実現するシステム。なお、このシステムは、ハードウェアおよびソフトウェアから構成されるものとし、その一部は申込者以外のベンダーによって提供されたシステムでもよい(この場合は、組合せ対象のハードウェアまたはソフトウェアが何かを記載すること)。また本分野は養殖工程全体管理までは含まない。

- 2022-01：検査分析機器（施設園芸・植物工場・養殖システム向け水質分析）
太陽光型植物工場、人工光型植物工場における栽培および海面における魚類養殖を前提に、栽培・養殖対象である野菜・魚類などの生育環境ならびに生産物が適切（安心・安全）であるよう、水質成分、元素成分および残留成分のうち1項目または複数項目を管理または検査するためのオフラインまたはオンライン（インライン）分析機器
- 2022-02：養液栽培システム（施設園芸向け）
施設園芸における養液栽培（水耕・培地耕・噴霧耕等）および隔離培地を用いた養液土耕を対象とし、作物の安定生産、収量増加、品質向上、作業の省力化などを目的に、かん水と施肥を適切かつ自動的に実行制御するシステム
- 2022-03：栽培環境調節用機器（施設園芸向け）
施設園芸での栽培を前提に、栽培対象である野菜などが適切に生育するよう、生育環境（温湿度・光環境・気流・空質・根圏環境・防除など）を適切に設定するための機器
- 2022-04：栽培環境改善資材（施設園芸向け）
施設園芸での栽培を前提に、栽培対象である野菜などが適切に生育するよう、生育環境（温湿度・光環境・気流・空質・根圏環境・防除など）を改善するための資材
- 2022-05：輸送環境測定機器（スマートフードチェーン向け）
農林水産物に代表される食品・食材の輸送（輸出含む）における品質管理に必要な各種環境（温度・湿度・衝撃/振動・雰囲気成分等）計測をおこなう機器
- 2022-06：陸上養殖システム（魚類）
陸上での魚類養殖における各プロセスの高度化・効率化を推進し、生産管理を適正に行うことで、生産量の増大と安定化、生産物の品質向上と省労力を実現するシステム
- 2021-01：人工光育苗設備（施設園芸・植物工場向け）
主に太陽光型植物工場での栽培を前提に、丈夫かつ高品質な苗を安定して生産する装置
- 2021-02：環境制御装置（施設園芸・植物工場向け）
太陽光型植物工場、人工光型植物工場における栽培を前提に、栽培対象である

野菜などが適切に生育するよう、生育環境（温湿度・光環境・気流・雰囲気・根圏環境など）を適切に設定するための機器を制御する装置

2021-03：衛生検査機器（人工光型植物工場向け）

衛生レベルの高い野菜を生産するために、野菜そのもの又は、使用する設備や機材の清浄度（付着微生物そのもの、又は微生物やその他汚れの指標となるもの）を測定することで、人工光型植物工場の衛生的な管理の実現に貢献する機器

2021-04：種苗（植物品種）

FFSA の取組み対象である太陽光型植物工場あるいは人工光型植物工場での栽培に適した種苗(植物の品種)⁵

2021-05：養殖システム（海面魚類）

海面魚類養殖における各プロセスの高度化・効率化を推進し、生産管理を適正に行うことで、生産量の安定化、生産物の品質向上と省労力を実現するシステム（生簀・給餌含む）

⁵ 遺伝子組み換え品種、ゲノム編集品種でない事（ただし 将来の国内外のパブリックアクセプタンスにより、ゲノム編集品種を許容することもある）

別添 3

提出書類・提供情報の取り扱い方針

(一社)食の未来システム創造協議会は、推奨事業に応募いただいた企業・団体等からの提出書類および提供情報を取扱うこととなるため、以下に示す方針に基づき、一般社団法人として責任ある対応を実現するものとします。

- ・提出書類・提供情報は、推奨品選定作業に必要な範囲内で適切に取扱います。また、目的外利用を行なわないための措置を講じます。
- ・提出書類・提供情報は、提出/提供者の同意なく第三者に提供しません。
- ・提出書類・提供情報の管理にあたっては、漏洩・滅失・毀損の防止及び是正、その他の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じるよう努めます。
- ・提出書類・提供情報に含まれる個人情報については、個人情報保護に関する法令を遵守し、管理します。